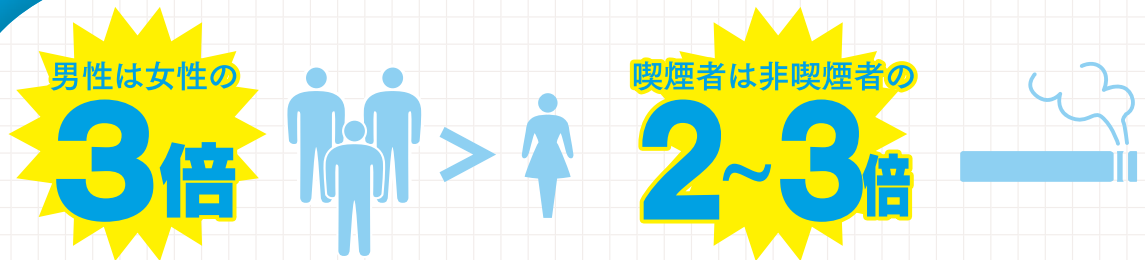


膀胱癌とは？

膀胱は尿をためる袋状の臓器です。膀胱内腔は移行上皮という粘膜で覆われており、その外側は筋層でおおわれています。
膀胱癌は、粘膜より発生する癌です。
膀胱癌の発生率は、性差があり、**男性は女性の3倍**、また**喫煙者は非喫煙者の2~3倍**といわれています。
初診時、60~70%は粘膜内にとどまる表在性(筋層非浸潤性)ですが、筋層あるいは筋層外に進展(浸潤性)している場合や、リンパ節や他の臓器に転移している場合もあります。



症状は

無症候性の肉眼的血尿が重要です。
膀胱刺激症状(排尿痛、頻尿、尿意切迫感など)が認められる場合もあります。

診断検査は

- 尿検査** 血尿や、尿中の癌細胞を調べます。
- 膀胱鏡** 尿道より内視鏡を挿入します。癌を確認、観察することができます。
- CT・MRI** 癌病変の筋層への浸潤や、膀胱外への進展、またリンパ節転移などを調べることができます。

治療は

- 手術療法**
 - 経尿道膀胱腫瘍切除術**・・・経尿道的操作により内視鏡に接続したループ状の電気メスで癌の基底部から切除します。癌だけでなく下の筋層まで切除し、病理組織診断で癌の深達度を明らかにすることもできます。
 - 膀胱内注入療法(抗癌剤、BCG)**・・・内視鏡手術のあとの残存腫瘍および上皮内癌に対する直接効果、また、再発予防目的に投与されます。
 - 膀胱全摘術**・・・浸潤性膀胱癌は内視鏡では完全に切除できないため、全身麻酔で行う膀胱全摘術が必要です。膀胱がなくなるため尿路変更術(回腸導管、代用膀胱など)も必要となります。手術中の出血量が多いため自分の血液を手術前に保存し輸血に備える方法(自己血輸血)がとられることもあります。
- その他の治療**
 - 放射線治療**・・・放射線を膀胱癌に照射し治療します。
 - 化学療法(抗癌剤治療)**・・・転移がある場合や、その可能性が高い場合に行います。

最新機器の紹介



高精度体組成計 「InBody(インボディ) S10」

高精度体組成計は、体水分量(細胞内・外)や部位別の筋肉量、体脂肪量を測定できる機械です。その他にも、タンパク質量や骨ミネラル量、基礎代謝量や栄養状態、浮腫の評価も行う事ができます。家庭用の体組成計との違いとして、四肢だけでなく体幹部まで通電した値から計算して算出するため、より精度の高い数値を計測する事ができます。その信頼性の高さより、日本でも医療機器認証(クラスII)を受けています。

握力や歩行速度等の運動機能評価と併せて、これを用いて測定することで、サルコペニア(骨格筋減少症)やフレイル(加齢による心身の衰え)、栄養状態を含めた全身の状態を、例えばこの筋肉が弱いかなど、正確に知る事ができます。カートでの移動もでき、臥位だけでなく座位や立位での計測も可能で、計測時間は2分程度で終わります。身体所見や体重測定だけでは分からないことや、侵襲のある検査でないと分からなかったことも、これを用いれば簡易的に評価することが可能です。
測定結果を用いて、リハビリテーションの効果判定や、プログラム作成上の指針の一つとして活用しています。



リハビリテーション支援ロボット 「ウェルウォーク WW-1000」

脳卒中などによる片麻痺の患者様に歩行の改善を目的としたリハビリテーション支援ロボット「ウェルウォークWW-1000」が2018年から導入されています。これは2017年にトヨタ自動車が開発し、全国で85施設、宮崎県では唯一当院にのみ導入されています(2021年5月時点)。

歩行訓練時に、麻痺側の足にロボットを装着することで、足の振り出しの補助、膝折れの防止など、必要最小限のサポートをロボットが行ってくれます。また、歩いた歩数や距離を画面上に表示することができ、歩く姿をあらゆる方向から撮影しているため、歩行中または休憩中に正面モニターで確認することもできます。歩行の状態は記録として残され、以前との比較も容易に可能です。

これらから、患者様自身が自分の状態を知ることにより、より効果的な歩行練習を行うことができます。重度の片麻痺の患者様であっても、転倒防止機能により安全性を確保して歩行練習を進めていく事ができ、かつ、機能回復に応じた適切な難易度の歩行練習が可能のため、患者様の自信と意欲の向上につながります。最新の研究でも、「歩行自立までの期間が従来の歩行練習よりも短くなる」という事が明らかになっております。また、今年の秋からは最新のWW-2000を導入する予定となっております。



上記以外にも、リハビリテーション療法部では様々な機器や手技の取り入れを積極的に行い、より良いリハビリテーションサービスの提供を目指しております。
(両機器とも、全ての患者様が対象となる訳ではありません。使用できない場合もあります。)